


Voice 日々の安心のために

子どもたちが成長し、留守番をするようになった時、突然災害が起こったら・・・と考え、災害時安否確認カードを登録しました。

「万が一」に備えることで、日々、安心して過ごすことができます。



川端 詩歩子さん
 杏奈ちゃん(左)・凛香ちゃん(右)
 (宮台)

災害時、近隣住民同士で、避難の完了を確認できる「災害時安否確認カード」を導入した宮台自治会。地域全体で防災に取り組み、「万が一」に備えています。

防災

宮台自治会

災害時安否確認カード

このカードを導入したきっかけの一つは、阪神淡路大震災の際、約50日後に、瓦礫の中から餓死した女性の遺体が発見された事例があったことです。大規模な災害が起こった時、公的支援をとつさに求めることは難しく、このような事例を起こさないためにも、いち早く対応できる地域住民同士による安否確認が大切だと思いました。

近年、各地で発生した災害の教訓から多くの皆さんが自治会の重要性を感じているようで、自治会員のほぼ全員の方にカードを登録していただきました。今後も地域全体で防災に取り組み、地域の防災力強化に努めていきたいと思えます。

宮台自治会では、「災害時安否確認カード」を導入しています。このカードに世帯全員の氏名を書き、大規模な災害で家屋が倒壊した時、世帯の全員が避難したかどうかを確認できる仕組みになっています。

お話を聞いたのは…



宮台自治会長
 永田 英男さん



下島自治会とパレットガーデン自治会が合同で結成する「下島・パレット見守りボランティア会」。地域の宝である子どもたちのために、より安全・安心な地域づくりを目指して活動しています。

安全・安心

下島自治会
 パレットガーデン自治会

下島・パレット見守りボランティア会

お話を聞いたのは…



下島・パレット見守りボランティア会
 鉦崎 崇行さん
 (パレットガーデン自治会長)

下島自治会とパレットガーデン自治会の有志、9名で活動しています。主な活動内容は、開成南小学校に通学する児童の下校時の見守りです。特に1・2年生は、慣れない通学で、注意が散漫になりがちなので、交差点で横断旗を使った声かけを行うことで、子どもたちの交通事故防止に努めています。また、この活動は、交通事故防止だけでなく、「地域の目が行き届いている」とこのアピールにもなり、声掛けの犯罪(誘拐等)の抑止にも繋がっています。雨や雪の日など、大変なこともありませんが、毎日の活動を通じた子どもたちとのふれあいは、私たちの大きな喜びになっています。先日、「おじちゃん、卒業式来てくれるっ!」と子どもたちが声をかけてくれました。

今後も、地域の宝でもある子どもたちが、安心して元気に通学できるように、活動を続けていきたいと思えます。

特集 もっと知ってほしい、自治会のこと

「自ら治める」と書く自治会。その名前のとおり、地域には、自分の住む地域を、自分で住みやすくしようと様々な活動をしている方々がいます。今月は自治会について特集します。

自治活動応援課 ☎84-0315

自分たちでつくる住みよい地域

自治会では、同じ地域に住む方々が、「自分たちの住む地域を、自分たちで住みやすくしよう」と様々な活動に取り組みまれています。また、自治会は、住民同士の繋がりがづくりの場としても重要な役割を担っています。

自治会ってどんなことをしているの? 近年多発する大規模な災害を目の当たりにして、「近所の人と知り合いだったら安心できるのにな…」と地域の人と繋がる大切さに気付きながらも、「自治会ってどんなことをしているのかよく分からない」と距離を置いてしまう方もいるのではないのでしょうか。

今月の特集は、自治会の主要な活動である防災、安全・安心、ふれあい、情報共有の4つの活動について、自治会の皆さんにお話を伺いました。

「自治会ってこんなことしているんだ!」と思ったあなた、ぜひ一度お住まいの地域の自治会活動をのぞいてみてはいかがでしょうか?